

教科(科目)	農業(草花)	単位数	4 単位	学年(学科・コース)	2年 生産技術科 草花
使用教科書	草花 実教出版			授業形態	選択
副教材					

1 科目目標

草花の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、草花の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6	草花園芸の特徴 草花の繁殖 草花の育種	<ul style="list-style-type: none"> わが国、学校で栽培されている草花について、種類や生産形態の特徴を理解させる。 種子繁殖と栄養繁殖の違いを理解させる。 さまざまな種子の播種をおこない、種子繁殖の方法について理解させる。 	20 20 20	定期考査をおこない知識・理解を評価する。実験実習レポートの内容、ノートの記帳で興味・関心を評価する。授業の出席状況、実験実習の取り組み等で態度・意欲を評価する。
7		<ul style="list-style-type: none"> 挿し木実習をおこない、栄養繁殖の方法について理解させる。 草花の育種の目的、育種のさまざまな方法を理解させる。 春まき一年草の栽培管理を通して、草花の名前・科名・管理作業栽培用具の名前等について理解させる。 		
9 10 11 12	草花の生育と環境要因 球根切花の種類と特性 チューリップの栽培特性	<ul style="list-style-type: none"> 栄養成長と生殖成長の違いを理解させる。 栄養成長と生殖成長それぞれに影響を与える環境要因について理解させる。 球根植物の種類・特性・栽培について理解させる。 チューリップの低温処理・栽培管理をおこない、開花調節技術について理解させる。 秋まき一年草・秋植え球根の栽培管理を通して、草花の名前・科名・管理作業・栽培用具の名前等について理解させる。 	24 16 28	
1 2 3	花壇用草花の種類と特性 花壇用草花の栽培管理	<ul style="list-style-type: none"> 花壇用草花の繁殖から育苗までの栽培管理について理解させるとともに、基本的な栽培技術を身につけさせる。 花壇用草花として生産されているおもな種類・性質等を理解させる。 	6 12	

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲 ・態度	身近な草花に興味関心をもち、意欲的に学習しているか。 班員と協力して実習をおこなっているか。	出席状況 授業態度・実習態度 レポート提出 ノート・プリント提出 定期考査等 上記を総合して100点満点で評価する
思考 判断	草花の特性と生育状態に応じた栽培管理作業を考えることができるか。	
技能 表現	草花の生育と環境に応じた栽培管理作業をおこなうことができるか。	
知識 理解	草花の特性と栽培技術を理解しているか。	

教科(科目)	農業(草花)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	3年 生産技術科 草花
使用教科書	草花 実教出版			授業形態	選択
副教材					

1 科目目標

- 2年次の学習をもとに、本校で栽培の多い鉢物の栽培に関わる基礎知識、栽培環境について学習する。
- 草花の利用について知識を深め、進路選択に役立てる。1 2年次の学習をもとに、本校で栽培の多い鉢物の栽培に関わる基礎知識、栽培環境について学習する。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法	
4	1 花き利用とデザイン	・様々な花壇やコンテナの利用方法を学習するとともに、実際に デザインやコンテナ作成を行う。	8	定期考査を行い知識・理解を評価する。実験実習レポートの内容、ノートの記帳で興味関心を評価する。授業の出席状況、実験・実習の取り組み等で態度や意欲を評価する。	
5	2 花きの装飾と加工	・いけばなとフラワーアレンジの違いを理解するとともに、簡単なアレンジメントの作成を行う。	2		
6	3 園芸セラピー	・園芸セラピー、園芸福祉の定義や目的、対象者を理解するとともに、それらに関する用語など学習する。	4		
7	4 ハーブの利用と栽培	・近年、栽培や利用が増加しているハーブ類についての基礎知識と主な利用方法について学習する。 ・2年次に引き続き、花壇苗の栽培管理を実習で行う。	4		
			1 2		
8	1 鉢の種類と特性	・2年次の実習で名前を覚えた、鉢・用土・肥料など鉢ものの栽培に関係する資材について、理解を深める。 ・用土については、各種用土の特徴を理解するとともに、物理性・化学性を理解させる。 ・かん水については、各種のかん水方法についての知識を深めるとともに、植物と水の関係について理解させる。 ・施肥については、必須16元素を、三要素の働きを理解させる。また、欠乏・過剰症状についても理解を深めさせる。 ・必要施肥量の計算の方法を習得させる。 ・鉢、用土、かん水、施肥それぞれ簡単な実験(栽培試験)等を行い、理解を深める。	6		同上
	2 土壌の種類と性質		4		
9	3 鉢土の特徴と調整		6		
10	4 かん水の方法と留意点		6		
11	5 花きの養分吸収と施肥		6		
12	6 施肥の考え方と実際		6		
1	1 花きの品質と品質保持	・花きの流通に関わる知識を深める。 (現行の状況を説明だけでなく、できるだけ最新情報を入力し、情報提供をおこなう)	4	同上	
2	2 花きの商品性、流通・販売の特徴		2		

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	身近な草花に興味・関心を持って学習できているか。	授業態度・実習態度等 プリント提出 ノート提出 定期考査等 上記を総合して100 点満点で評価する
思考判断	観察・調査などの確にできているか。 特性を理解して分類などできているか。	
技能表現	草花の装飾や利用についての的確に行っているか。	
知識理解	草花の特性を理解しているか。 栽培方法について知識や理解が深められているか。	

教科(科目)	農業(草花)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)	3年 生産技術科 草花
使用教科書	草花 実教出版			授業形態	選択
副教材					

1 科目目標

草花の栽培に必要な知識と技術を習得させ、草花の特性や栽培に適した環境を理解させる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6	草花園芸の特徴 草花の繁殖	<ul style="list-style-type: none"> わが国、学校で栽培されている草花について、種類や生産形態の特徴を理解させる。 種子繁殖と栄養繁殖の違いを理解させる。 さまざまな種子の播種をおこない、種子繁殖の方法について理解させる。 	8 1 2	定期考査をおこない知識・理解を評価する。実習レポートの内容、ノートの記帳で興味・関心を評価する。授業の出席状況、実習の取り組み等で態度・意欲を評価する。
7	草花の育種	<ul style="list-style-type: none"> 草花の育種の目的、育種のさまざまな方法を理解させる。 春まき一年草の栽培管理を通して、草花の名前・科名・管理作業栽培用具の名前等について理解させる。 	1 0	
9 10 11 12	草花の生育と環境要因 球根の切花	<ul style="list-style-type: none"> 栄養成長と生殖成長の違いを理解させる。 栄養成長と生殖成長それぞれに影響を与える環境要因について理解させる。 球根植物の種類・特性・栽培について理解させる。 秋まき一年草・秋植え球根の栽培管理を通して、草花の名前・科名・管理作業・栽培用具の名前等について理解させる。 	1 8 1 6	
1 2	花壇用草花生産	<ul style="list-style-type: none"> 花壇用草花の繁殖から育苗までの栽培管理について理解させる。 花壇用草花として生産されているおもな種類・性質等を理解させる。 	6	同上

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲 ・態度	身近な草花に興味関心をもち、意欲的に学習しているか。 班員と協力して実習をおこなっているか。	出席状況 授業態度・実習態度 レポート提出 ノート・プリント提出 定期考査等 上記を総合して100点満点で評価する
思考 判断	草花の特性を理解して分類などできているか。	
技能 表現	草花の生育と環境に応じた栽培管理作業をおこなうことができるか。	
知識 理解	草花の特性と栽培技術を理解しているか。	